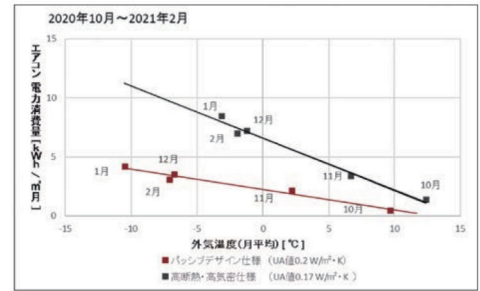




今回の記事で紹介した北見市の住宅の外観

ハイレベル住宅で容易に実現 5.6kWエアコン1台で全館空調 システック環境研究所 ☎03-5305-3701



昨年秋に完成したパッシブデザイン住宅の消費電力・外気温相関図

(株)システック環境研究所(本社東京都)と(株)イワサキ(本社北見市)は、冬は太陽熱を積極的に採り入れて暖房負荷を低減し、夏は日射遮蔽して室温の上昇を抑える、パッシブデザインの住宅を北見市内に昨年秋完成させた。この住宅は延床面積約41坪。ウレタンパネルのスーパーウォール工法を採用し、 U_A 値0.20W、C 値0.3cm²で、札幌版次世代住宅基準で言えばハイレベル、HEAT20ではG3レベルに相当する。冷暖房は、5.6kWの汎用寒冷地エアコン1台で全館冷暖房する「コンフォート24」を採用している。

今年1月の北見は、最低気温が-23℃台の日もあるほど寒かったが、住宅の室温は20℃をキープし、明け方午前6時のエアコン消費電力は1500Wしかなかった。1月全体の消費電力も実測で約4kWh/m²月と低く抑えられた。

「コンフォート24」は、システック環境研究所が開発。汎用の寒冷地型エアコン1台と複数台の送風ファンで各部屋を空調する戸建住宅用全館空調システム。2018年から本格的に道内で販売を開始し、札幌をはじめ、旭川、北見、稚内、釧路などで3年間に100棟近くの採用実績がある。

同社では、「コンフォート24」は、札幌版次世代住宅基準のスタンダードレベル以上の高断熱・パッシブデザインを採用することで冷暖房費をさらに低く抑え、エアコン暖房特有の強い温風が羽に当たることがない快適な生活を送ることができる。当社では1戸1戸空調設計をしているので気軽に相談してほしい」と話している。

驚異の快適・省エネルギー！

comfort24 × パッシブデザイン

寒冷地型エアコン1台で全館空調！

北見の導入事例を紹介します！

所在地：北見
延床面積：136.21m²
 U_A 値：0.2W/m²・k
C 値：0.16 cm²/m²
ユニット：5.6kw 1台

2021年1月12日

室内≧20℃

温度差40℃

外気温

■ 設計支援いたします ■

支援内容

パッシブデザイン	コンフォート24
①高断熱・高気密	①全館空調設計 (エアコン1台)
②日射取得・遮へい・外気冷房	②温熱環境設計
③躯体蓄熱・放熱	

資料請求はコチラから

UA値札幌版次世代基準のスタンダード以上

記事と広告は「北海道住宅新聞 2021年3月25日号」に掲載されたページから抜粋しています。